

図書便り

男女共同参画センター“いこ～る”プラス（JR長岡京駅直結長岡京市立総合交流センター6F）は、男女共同参画に関する約1,600冊の図書を貸出しています。ぜひご利用ください！



声をあげることの“素晴らしさ” 感じてみませんか？！



5月28日講座 輝け！わたし！！相手に響く「伝わる声と話し方」の関連本



新着！ 講座 講師の本

「声」と「言葉」で心に響く プロの話し方作法

川邊暁美/著
明日香出版社/刊

話し方のプロである元アナウンサーの著者が、伝わる内容・心のこもった声の出し方、作法などを実際の例を交えて解説。思いが伝わるってこんなに素晴らしい。声と言葉を輝かせ、自分らしい一歩を踏み出したいくなる本。



新着！

みんなの「わがまま」入門

富永京子/著
左右社/刊

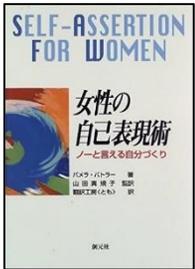
本書では「わがまま」を「自分あるいは他の人がよりよく生きるために、その場の制度やそこにいる人の認識を変えていく行動」と定義。自己主張を“わがまま”と捉えかねない中、「わがまますを言いやすくするにはどうすればいいか」について考察。



言葉は現実化する 人生は、たった“ひと言”から動き始める

永松茂久/著
きずな出版/刊

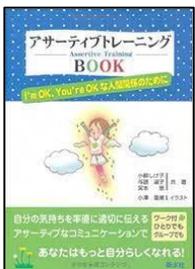
ふだんの何気ない「口癖」があなたの人生を決めている。「なぜ言葉を変えると人生が変わるのか？」という理論的な説明から、実際にどんな言葉を使えば意識が変わっていくのか、いい言葉を習慣化させる方法など、分かりやすく解説。



女性の自己表現術 ノーと言える自分づくり

パメラ・バトラー/著
山田真規子/監訳
創元社/刊

自己表現とは、率直に正直にその場で自分の考えや気持ちを表現すること。自分の枠を外す・境界線の引き方・女性と男性のコミュニケーションや関係づくり、自立などをテーマに自分の人生を獲得するように導く書。



アサーティブトレーニングBOOK I'm OK, You're OKな人間関係のために

小柳しげ子・与語淑子・宮本恵/著
新水社/刊

アサーティブとは、直訳すると「自分を一步前に出す、前向きに率直に自分を表現すること」を意味します。自分の考えや気持ちを相手の気持ちを尊重しながら伝えるコミュニケーション術の基本的な考え方から、実践的な伝え方までを学べる1冊。



新刊!

「なぜ、日本はいつまでもジェンダー不平等なのか」の関連本

存在しない女たち 男性優位の世界にひそむ見せかけのファクトを暴く

キャロライン・クリアド＝ペレス/著
神崎朗子/訳
河出書房新社/刊

日常のいたるところで女性に関するデータが不足しており、それが女性の健康、仕事や経済状態に負の影響を与えていることがわかった。女性たちが安全に自由に生きられる社会にするためにはデータのジェンダー・ギャップ指数を埋める必要性を説いている。

日本のジェンダーを考える

川口章/著
有斐閣選書/刊

私たちが生まれてから仕事を引退するまでのライフコースにおいて経験するさまざまな出来事にジェンダーがいかに深く関わっているかを考える。人生で繰り返し遭遇する性別役割分担の不条理にどう対処するか、を考察する。

未来をひらく男女共同参画 ジェンダーの視点から

西岡正子/編著
ミネルヴァ書房/刊

男女共同参画社会づくりは、国連を中心に世界的な動きとなっている。このグローバルな概念の実現をめざすなかで、ジェンダーをとらえ直す。ジェンダーとは何か、ジェンダーをめぐる社会・環境の変化をわかりやすく解説している。

ジェンダーとわたし 〈違和感〉から社会を読み解く

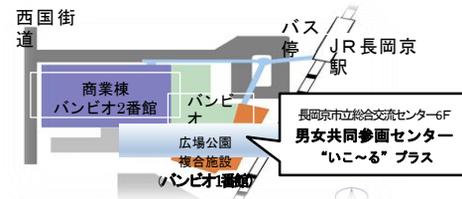
笹川あゆみ/編著
北樹出版/刊

ジェンダーとは何を意味するのか。社会のいたるところに存在するジェンダーにまつわる差別意識や偏見について考えるための入門書。学校や家庭、職場など毎日の生活の中にあるジェンダー問題をわかりやすく解説。

自己決定権とジェンダー

江原由美子/著
岩波書店/刊

からだの自己決定がもたらすもの、とりわけ女性の自己決定がいかなる社会関係のもとで行われ、なにが女性の自己決定を難しくしているのかを、インタビュー結果を交えながら丁寧に描いている。



情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）
対象：長岡京市在住・在勤・在学の人
※図書の貸出しには「情報利用者カード」の登録が必要です。
カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。

◇ 編集・発行 ◇

長岡京市男女共同参画センター「いこ〜る」プラス
〒617-0833
京都府長岡京市神足2丁目3番1号
長岡京市立総合交流センター6階
TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521
E-mail: danjo-c@city.nagaokakyo.lg.jp
開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）

